

今回は、がん治療についてと抗がん剤治療の目的について紹介します。

## ☆がん治療について☆

がんの治療法は、局所療法の手術療法や放射線療法と全身療法の抗がん剤治療(がん化学療法)に大別されます。

手術治療や放射線治療が、がんに対しての局所的な治療であるのに対し、抗がん剤は、より広い範囲の全身に治療の効果が及ぶことが期待できます。

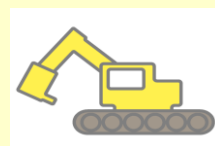
例えば、畑から雑草を取り除く方法として治療を考えてみたら

### 局所療法

#### 手術

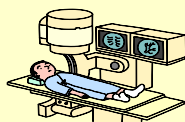


\* 雑草を1本ずつ手で抜く。



\* 雑草を機械で掘り起こしてしまう。

#### 放射線



\* 雑草の生えている畑を焼いてしまう。



### 全身療法

#### 抗がん剤



\* 空から除草剤をまく。

## ☆抗がん剤治療(がん化学療法)について☆

抗がん剤治療の目的を以下に示します。

### 抗がん剤治療(がん化学療法)の目的

- ・がんを治癒させるため
- ・がんの成長を遅らせるため
- ・がんが転移・再発するのを防ぐため
- ・体のほかの部分へ転移しているかもしれないがん細胞を殺すため
- ・がんによって起こっている症状を和らげるため など

抗がん剤治療は、単独で行うこともありますし、手術治療や放射線治療などの治療と組み合わせて行うこともあります。また、抗がん剤治療には、単独の薬剤を使う場合と複数の薬剤を組み合わせる場合があります。

現在、多くの抗がん剤治療は、標準療法といわれる効果と副作用が検証された方法で行われています。通常、転移・再発するのを防ぐ目的(補助化学療法)の場合には、あらかじめ投与期間を決めてから投与します。また、治癒やがんの成長を抑える目的の場合は、効果や副作用をみながら投与を継続していきます。

がん化学療法を受けるにあたり、どのような効果や副作用があり、どのくらいの治療期間、費用がかかるのかなどの情報を主治医などへ確認しておくことも大切です。

